

摂津市 GIGA スクール 構想 ～未来を生き抜くための力～

これまでの授業スタイルが生まれ変わる

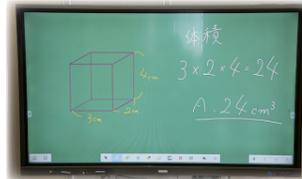
小学校1年生から中学校3年生まで、一人1台のiPadを整備

学校内での高速無線ネットワークの整備

小学校の各クラスに65インチの電子黒板を整備



サイズ 10.2インチ
モデル Wi-Fiモデル
ストレージ 32GB



Efficiency

生徒・児童が作成した成果物や先生たちの教材データはクラウドで管理

「G Suite」というクラウドシステムで、生徒・児童が作成した成果物や先生たちの教材データを管理します。

メリット

- ▶ 端末や接続環境に関係なく、校内や家庭などから成果物や教材が確認できる
- ▶ 児童・生徒の家庭学習や教職員などのテレワークが可能になる
- ▶ 遠隔教育が可能になる

「G Suite」とは・・・

Google社が提供するビジネス向けのクラウド型グループウェアサービスのこと。

グループウェアとは、チームで円滑な作業を進めるために欠かせない「Gmail」「スプレッドシート」「カレンダー」などのアプリケーションのことを指します。

これらのアプリケーションを1つに統括し、ネットワーク経由で提供しているアプリが「G Suite」です。



settsu



Support

授業でiPad活用をより効果的に
行うための支援ソフトを導入

ミライシードという、協同学習・一斉学習・個別学習それぞれの学習場面に
対応したタブレット学習用オールインワンソフトを導入。



オクリンク
(授業支援)



▽モニタリング・画面共有で先生を支援
▽スムーズなプレゼンテーションの実現

ムーブノート
(協同学習)



▽意見共有・相互評価をリアルタイムで確認
▽全員参加で練り上げる授業をサポート

ドリルパーク
(個別最適化学習)



▽算数・数学の学び直しドリル
▽総合学力調査に基づく個人オリジナルカリキュラム提示

ICT 機器導入スケジュール

	配布開始日(予定)	学年
小学校	9月から配布中	6年生
	10月19日から	5年生
	11月19日から	3・4年生
	12月9日から	1・2年生
中学校	9月から配布中	3年生
	10月19日から	1・2年生

＝まずはモデル校から＝

市では、8月から、大阪府内で最も早く、GIGAスクール構想をスタートさせました。

小学校では鳥飼北小学校と別府小学校、中学校では第一中学校と第五中学校をモデル校と定め、一人1台のタブレット端末(iPad)を配布し、ICTを活用した授業がスタートしています。

今後、順次市内の全小中学校に端末を配布し、ICT機器を活用した授業を行う予定です。(左表参照)

＝グローバル人材の育成＝

GIGAスクール構想とは、2019年12月に文部科学省が発表した「Global Innovation Gateway for All」の頭文字をとった事業のことで、「全ての子どもたちにとってグローバル人材・革新を起こせる人材になるための入り口」という意味です。

授業にICT機器を導入し、子どもの能力を最大限引き出すための取り組みです。

問合せ 学校教育課へ



■ 授業内容を紹介 ～ ICT 教育推進リーダー教員インタビュー ～

小学校



◀自分の意見をタブレットに書き、意見を全員で共有する様子。
良い意見にはタブレット上で「拍手」を送ることができる。

▶タブレットを使い、漢字の書き順を確認しながら、国語の漢字ドリルをする様子。



※別府小学校で撮影

別府小学校 石田亮太 先生

ICT 機器の導入で、授業の幅が広がりました。子どもたちが授業に積極的に参加するようになったと感じています。

今は2年生の担任をしていますが、高学年になってから行う調べ学習を低学年でも行えるようになりました。また、自分の意見を発信しやすくなった事で、学習意欲も増したと感じています。発表は、各々がタブレットに意見を書き、それを児童全員で共有するだけでできます。以前のようにドキドキしながら手を挙げる必要はありません。そのため、控えめな子どもでも積極的に意見を発信できる仕組みです。

一方、鉛筆で文字を書き、文章を作る力も重要です。教師は手で書く事とタブレットを使う事のバランスを常に考えることが今後の課題だと考えています。



中学校



◀タブレットを使って情報収集を行い、グループで意見をまとめている様子。

▶体育の授業でタブレットを使ってフォームをチェックしている様子。



※第五中学校で撮影

第五中学校 中井果奈 先生

私は保健体育を担当していますが、ICT 機器の導入で、運動技術を効率的に向上させることができるようになったと感じています。

例えば授業で走り幅跳びを行うとき、以前は上手な生徒のフォームを動画で撮影し、全員で共有していました。これからは、生徒同士で互いのフォームの動画を撮影し、チェックやアドバイスなど、フィードバックを行うことができます。また、動画撮影は、評価基準を客観的に確認することができるので、運動の苦手な生徒でも好評価に近づきやすくなります。

一方、体育の授業は体力向上も目的としていることから、タブレットばかりを使うことで活動時間が減らないよう注意しています。タブレットを一つの道具として活用し、効果的な授業を行う事ができればと考えています。



■ ICT 授業の4つのメリット

メリット1

個別最適化された学習

一人ひとりの子どもの学習レベルや進度にあった問題に取り組むことのできるデジタル学習ができます。



メリット2

協同学習

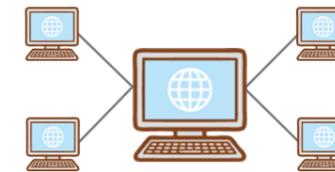
他者の意見を取り入れることで思考を深めたり、学習した内容を使って自分なりに短い動画にまとめるなど、授業の可能性が広がります。



メリット3

わかりやすい授業や学習の効率化

映像やアニメーションなどで理解を深めたり、他者の意見を共有できたりし、授業がわかりやすく効率的になります。



メリット4

情報活用能力の育成

情報化社会の中で、必要な情報や情報手段を選択し活用できる能力を育てることができます。



教育の本質は変わりません

- ▽さまざまな人や物と関わる
- ▽ともに活動する
- ▽思いやりの心を育てる

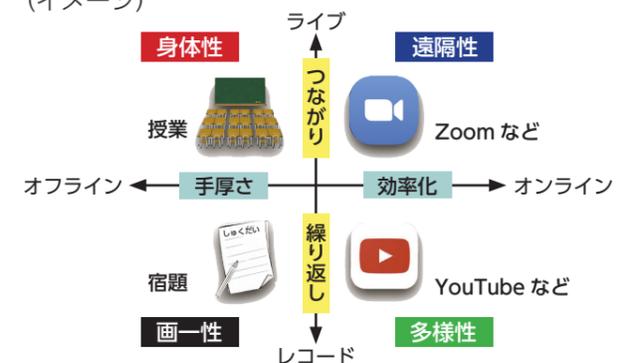


ICT 機器を**文房具**として有効に活用しながら学ぶこと、体験を通して実感を持って学ぶことのバランスをとりながら、「**たくましく生き抜く力**」の育成を目指す

【授業の機能】

授業は、主に4つの機能があります。今までは身体性や画一性を重視した授業内容でした。タブレットを導入することで、遠隔性や多様性といった性質が加わり、授業の幅が広がります。そのため、より一層子どもたちの可能性を広げることができます。

(イメージ)



タブレット・Wi-Fi ルーター貸与

インターネットの通信環境が整っていない家庭に対し、無償でモバイル Wi-Fi ルーターを貸し出します。タブレットは全生徒に無償で貸与します。



- ※ Wi-Fi ルーターの無償貸与は緊急措置のため、今年度のみ
- ※家庭状況により支援を検討中

授業の様子を動画で確認

ICT 機器を使った授業の様子は右記 QR コードからも確認できます。

チャンネル登録して、摂津市の教育の最新情報をチェックしましょう。

